

議会広報特別委員会

宮城県川崎町を視察



1月25日、議会広報特別委員会で宮城県川崎町を訪問し、議会だよりの編集について意見交換を行いました。

川崎町は仙台市に隣接した人口約9,600人、温泉とスキー場がある自然豊かな町で、「かわさき議会の情報」は町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞しています。

研修では「町民の皆さんに見ていただける広報紙を！」をテーマに、川崎町議会広報の編集方針、制作体制について説明を受けました。委員長の熱い思いが伝わる説明と、写真を用いわかりやすくつくられた説明資料等に、編集をする委員の力を感じるものでした。この視察研修で委員それぞれが感じ、持ち帰ったものを活かし、今後も「わかりやすい議会だより」をお届けできるよう、さらなる研究を重ねてまいります。

茨城縣城里町議会視察来訪

特産品、6次産業化を紹介



2月25日に茨城縣城里町議会教育産業常任委員会の方々が多古町の農業、特産品開発等の視察にみえました。

それぞれの町の特徴について情報交換をした後、多古町の6次産業化を推進する事業の中で生まれた、多古米やさつまいもを使用した特産品の現品を紹介、試食しながら6次産業化の事業内容について担当課長から説明をしました。

多古町と同様に米作りが盛んな城里町とのことで、多古米を使用した特産品にも関心を持たれた様子でした。



新春講演会

成田空港機能強化について情報を共有

2月16日、芝山町文化センターにおいて成田第3滑走路実現を目指す有志の会主催による講演会が開催され議員全員が参加しました。講演は、黒野匡彦氏(元成田国際空港株式会社 代表取締役社長)による「首都圏空港をめぐる情勢。成田空港の機能強化について」をテーマとするもので、成田空港の機能強化について基本的な情報を共有する機会となりました。

空港対策特別委員会

今後の調査・研究の方向を確認



2月25日、空港対策特別委員会協議会を開催し、今後の成田空港機能強化に係る調査・研究の進め方について各委員の意見を集約し、次の6点の内容を今後の方向として確認しました。

1. 空港周辺対策と本町の状況把握、2. 騒音対策に係る調査・研究、3. 騒音対策協議会との懇談、4. 近隣市町議会との連携、5. 外部有識者等による研修会等の開催、6. 必要な資料・情報の収集。

また、空港対策に係る基礎的な情報については委員だけでなく、議員全員の情報共有が不可欠ということから、研修会等は議員全員を対象とした開催にすることとしました。

3月23日には芝山町役場において開催された成田空港圏自治体連絡協議会主催の勉強会も傍聴し、成田空港の機能強化について国、県、NAA、空港周辺9市町首長との情報共有に努めました。

追跡 あの質問は… どうなった?



こうなった!

平成28年度予算に
中学校エアコン設置
工事設計費を計上



本格導入に向け実証中の輻射方式空調設備

~中学校エアコン設置~

〔平成25年6月定例会〕

問 熱中症対策やより良い学習環境確保のため、小・中学校一般教室へのエアコン設置は不可欠では。
(石渡悦子議員)

答 空調設備のコスト抑制や導入方法の検討、財政状況を勘案し、考えていかなければならない課題です。
(教育長)

〔平成26年12月定例会〕

問 小・中学校へエアコン設置を図り、学業に専念できる環境整備を早急に取り組んで。
(石渡悦子議員)

答 極力財政負担を抑える導入方法を研究し、整備に向けて検討、努力していきます。(教育長)

〔平成27年6月定例会〕

問 小・中学校へのエアコン設置について、必要性を認めながらなぜ事業化されないのか。中学校は町に1校しかないのに、まずこの整備ができないのはおかしい。
(椎名義光議員(当時))

答 耐震改修工事を優先的に実施しています。財政負担を抑えるような導入方法を研究し、設置に向け検討していきたい。
(教育長)

〔平成27年9月定例会〕

「多古町小・中学校環境整備に関する決議」を賛成全員で可決。

議会を傍聴して

数年ぶりに、議会を傍聴しました。以前に比べて、議員数が少なくなって寂しく感じましたが、女性議員が4名おり時代の流れを感じました。今後の一層の活躍を期待しています。

住民は、議会議員に対して選挙の時以外に関心を持っていないのではないかと感じます。議会活動がもっと住民に興味を持ってもらえるような、定例の議会以外にもっと見える形で身近なものになるための工夫が必要ではないかと思えます。



萩原 忠吉さん (喜多)



みなさんからの声

いただいたご意見は、関係委員会にて報告・検討させていただきます。